

法律クリアの 広告コピー講座

◇ 2 ◇

今週の広告コピー参考実例

- ・切り傷やちょっとしたやけどなどにも効果を発揮する万能なエッセンシャルオイル
- ・マカダミアナッツオイルは乾燥を助け老化によるシミやしわにも効果的です

エッセンシャルオイルやアロマキャンドルなどのアロマ商品や、手づくり石鹸などを使って、医薬的な効果効果を広告にうたっている販売サイトをよく見かけます。今回はそんな例をもとにポイント解説します。

<頭痛、腹痛、筋肉痛などの痛みをやわらげるといわれ、切り傷やちょっとしたやけどなどにも効果を発揮する万能なエッセンシャルオイルです>

<当店の石けんは家庭用雑貨石けんです。マカダミアナッツオイルは乾燥を助け老化によるシミやしわにも効果的です>

いずれも、医薬的な効果効果をうたっています。しかし、オイルでも石けんでも身体に作用するような効果効果をうたって販売できるのは、効果に応じた化粧品や医薬部外品、医薬品としての届出や承認を得た商品だけです。

薬事法では、届出や承認を受けた化粧品、医薬部外品、医薬品ではない商品を、あたかも化粧品、医薬部外品、医薬品のような使用方法や目的、効果

久保 京子 プロフィール



86年慶応義塾大学文学部卒業後、花王株式会社に入社。07年から財団法人日本産業協会にて、電子商取引モニタリング調査に携わる。09年にネットショップの広告表記や顧客サービスのコンサルティングを行う株式会社フィデスを設立、代表取締役社長に就任。

効果を表示して販売することを禁止しています。

- ・雑貨であれば薬事法の対象外
- ・身体に使う用途の商品であっても、雑貨として販売するのであれば、薬事法の対象外

このような認識をもっているネットショップ事業者がいるとすれば、薬事法違反に陥る可能性は大です。

その商品が「医薬品等」であろうと「雑貨」であろうと、身体に作用するような効果効果をうたうのであれば、薬事法の規制から逃れることはできません。

販売事業者は、販売する商品が、薬事法で規制される化粧品や医薬部外品等であるかをまずは仕入先に確認しましょう。該当すれば、その商品分類の広告表示規制に従います。該当せず雑貨として販売するのであれば、化粧品や医薬部外品、医薬品のような使用方法や効果効果をうたってははいけません。

化粧品や医薬部外品ではない雑貨であっても、薬事法には留意しましょう。

(毎週掲載)

雑貨であっても、薬事法には留意しよう